

第16回 FMくらら857放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成30年5月29日(火) 11時00分～11時54分

2. 開催場所 ケーブルテレビ株式会社

3. 委員出席

審議委員総数 8名

出席委員数 6名

■出席委員(敬称略)

茅原 剛 会長(栃木市総合政策部長)

岸 英司 副会長(栃木市商工会議所事務局長 管理課長)

高崎 尚之 委員(栃木市産業振興部長 栃木市観光協会専務理事)

池田 正 委員(栃木警察署長)

石田 栄 委員(栃木市消防本部消防長)

堀江 貴浩 委員(栃木青年会議所理事長)

■放送事業者側出席者

高田 光浩 (ケーブルテレビ株式会社 代表取締役社長)

村上 正子 (ケーブルテレビ株式会社 取締役)

木村 嘉孝 (コンテンツ部課長)

清水 研児 (コンテンツ部 FMグループ係長)

世取 山大輔 (コンテンツ部 FMグループ)

4. 報告事項

事業運営状況に関する報告に続き、対象番組等について、各委員より感想・意見・疑問点等を挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行した。必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答した。

また、今年度就任した栃木警察署長の池田正氏、栃木市消防本部消防長の石田栄氏が委員に就いた。

5. 議事

①3月31日(土) 11時放送

中継レポート「ふれあいバスに乗って謙信平」 13分

- (事務局) 桜が咲く太平山から電話中継をした。レポートした百瀬パーソナリティは、栃木駅からふれあいバス・岩舟線に乗り、最寄りのバス停「太平山謙信平入口」で降りて自力で登った。現地で人気のあるスイーツを紹介したり、県外から訪れた人へのインタビューなどを入れたりして、市内観光スポットをPRした。
- (委員) 体を張った取材で大変だと感じた。バス停の名前は「謙信平」だが、実際の謙信平からは遠いことを放送で知った。
- (委員) 色々な方々へのインタビューが良かった。「謙信平の写真がキレイだった」と言っていたが、中継では情景の描写が少なかったのは残念だった。人気のあるスイーツはもっと紹介していい。
- (委員) バス停から謙信平までの道のりと、東京からの観光客へのインタビューで「なぜ太平山へ来たのか？」が知りたかった。
- (委員) 市内の人が知らなければ、市外の人に案内できない。太平山へは関東バスを利用するルートもある。多くの情報を盛り込んで欲しいが、放送時間の関係もあるのだろう。
- (委員) 中継レポートは臨場感を気にしているが、今回はとても良かった。
- (事務局) 限られた時間の中で、どの情報を入れるかを今後もパーソナリティに指導していきたい。またホームページなどへ写真をアップロードするなど、視覚的要素を加えていければと検討しています。

②5月4日(金) 18時放送

- レギュラー番組・YORA!ナイトくらら 857 「スタジオがニラの臭い」44分
- (事務局) 金曜日夜のレギュラー番組的一幕。相良パーソナリティがバッグに誤ってニラを入れておいたために、スタジオがニラの臭いで充満してしまい、何を話しても「落ち」はニラになってしまった。放送中に消臭スプレーを撒くなどしたが、臭いは取れず。リスナーから「大爆笑で永久保存版にしてほしい」とのメッセージが届くなどして、ゴールデンウィーク夜に異質の盛り上がりを見せた番組。
- (委員) 砕けた中で、身近な話題を取り上げ楽しかった。ニラの話は若干くどかった。潮干狩りの話で否定的な表現があったが、もっとオブラートに包んだ言い方が良い。
- (委員) 女子会のようにテンポが良く、とても楽しく聴けた。ただ不適切な表現があったため、気を付けて欲しい。話題性のあるものを取り入れても良かった。
- (委員) ハプニングを会話の中に取り入れていた。ニラは「とちぎ小江戸ブランド」に認定されているので触れて欲しかった。

- (委員) パーソナリティ 2 人の個性がうまく調和し、全体的に楽しかった。審議番組に今回の番組を挙げた意図を教えて欲しい。
- (事務局) 否定する表現があったことについて、常に言葉に配慮して放送するよう指導したい。放送局の認知度をまだまだ向上させなければならぬ中で、多くの年齢層に向けた様々なジャンルの番組が必要です。このため今回はバラエティの要素がある番組を提案しました。
- (委員) ラジオ放送はリスナーが共感することで評価が決まる。「～あるある」という要素が、共感するキーワードになってくるのではないか。
- (委員) バラエティ番組は今後多くなるのか。
- (事務局) 楽しいだけで終わってしまわずに、ハプニングに対しても都度対応して次につながるトークができるように、意識が持てるように指導していきたい。

③その他

- (委員) 土日は若い世代も聴いているので最新作の音楽を掛けて欲しい。若い人への情報発信も必要になってくるかと思う。聴いている方が望んでいる放送を心掛けて欲しい。
- (委員) 曲がフルコーラスで聴けるのは良い。
- (事務局) 最新曲を揃えるのはなかなか難しいが、新しいパーソナリティがデビューするなど、新しい要素も加えていきます。

6. 審議機関の答申又は概要の公表

FM くらら 857 ホームページに掲載 (平成 30 年 6 月掲載)

■次回の日程開催

平成 30 年 7 月 31 日 (火) 午前 11 時予定